

「DPL札幌レールゲート」を視察し意見交換

JR貨物の大規模物流施設

8月29日、JR貨物と民間企業が共同で札幌市白石区に完成させた大規模物流施設「DPL札幌レールゲート」を視察し、関係者の皆様と意見交換しました。

同施設は地上3階建て、延べ床面積8万6000平方メートルで道内では最大級の物流施設。JR貨物の「札幌貨物ターミナル駅」構内に立地しているため、鉄道コンテナを利用することで全国各地へよりスムーズに輸送することができ、道産の農水産物や日用品などの物流の効率化が期待されています。



安全・安心の拠点に

白石中央交番がリニューアル



白石小学校横の白石中央交番（本通2丁目北）が新しくなり、地元の札幌市議や地域の皆様と一緒に視察しました。

これまでの交番は築44年と老朽化しており、地域の皆様から建て替えの要望をいただいております。

新しい建物はこれまでの2倍の広さで、駐車場も広くなり、地域の皆様が防犯の打ち合わせなどに活用できるコミュニティルームも備えられており、地域の安全・安心の拠点が拡充しました。

石狩データセンターを視察し意見交換

10月13日、道議会公明党として石狩市内にある「石狩データセンター」（さくらインターネット株式会社）を視察し、同社の皆様と意見交換しました。

同センターは、データの処理や管理、通信を行うサーバーを収容する国内最大級の郊外型大規模情報通信施設です。担当者によると「北海道の冷涼な外気でのサーバーの冷却や、サーバーからの排熱をロードヒーティングや事務所の暖房へ活用するなどエネルギー効率を高め、都市型データセンターと比較して約6割まで電力量を削減できます」との説明がありました。

道議会公明党として、冷涼な気候や豊富な再生可能エネルギーなどを生かし、こうしたデータセンターの誘致に取り組んでまいります。



森しげゆきプロフィール

- 昭和28年6月12日 香川県坂出市生まれ
- 昭和47年 国立詫間電波高校(現香川高専)卒業
- 昭和56年 神戸大学経済学部卒業
- 平成6年 時事通信社退職
- 平成7年 北海道議会議員初当選
- 平成31年 同6期目当選
- ◆北海道議会 総務常任委員会 理事
産炭地域・エネルギー問題調査特別委員会 理事
- ◆公明党北海道本部 代表代行
- ◆北海道議会 公明党議員団 団長

●●●皆様の声をお寄せ下さい●●●

森しげゆき事務所

〒003-0025 札幌市白石区本郷通2丁目北3-21
TEL 011-860-4151/FAX 011-865-9043
URL <http://kmplan.net/usr/mori/>
E-mail sigemori@seagreen.ocn.ne.jp

発行：森成之／編集：ケー・エム・プラン

北海道議会議員 〈札幌市白石区〉 森しげゆき 通信



2022

秋冬号

物価高騰から生活、産業を守れ!



2度にわたり

知事に具体的支援を要望

北海道経済は、新型コロナの影響に加え、ロシアのウクライナ侵略に伴う燃料費や原材料、食料品などの価格高騰により大きな打撃を受けており、道民生活に深刻な影響が生じています。

道議会公明党としても、各種団体はじめ道民の皆様から寄せられたご意見、ご要望をもとに5月27日と9月29日の2回に渡り、鈴木知事に緊急要望を行いました。

その結果、低所得のひとり親世帯や子育て世帯への給付金支給、学校給食費の保護者負担の軽減、バス、タクシー、トラック事業者に対する支援などが実現しました。これからも、さらなる支援に全力で取り組んでまいります。



道民の切実な要望を訴える

【5月27日】

- 生活に困窮する方や低所得の方に寄り添った生活支援
- ひとり親世帯をはじめとした子育て世帯の負担軽減
- 学校給食などにおける保護者負担の軽減
- 燃料費高騰の影響を受けているバス、タクシー、トラックなど物流・公共交通事業者に対する経営支援
- 観光関連事業者に対する今後の観光需要拡大も見込んだ支援

【9月29日】

- 飲食店や小売業の負担軽減に向けた飲食店の利用促進策などの支援
- 中小・小規模事業者や医療機関、介護施設などに対する価格高騰分への支援
- 農林水産業におけるエネルギーや原材料価格の高騰に対する支援

主な要望内容

道・消防防災ヘリ 24時間運航を再開

4月11日、札幌丘珠空港内にある道防災航空室を訪問し、「道消防防災ヘリコプター」の運用について道の担当者と意見交換しました。

これまで道の消防防災ヘリは操縦士不足で夜間は運航を休止していましたが、道警察との共同運航で操縦士が確保できたため、4月1日から24時間運航が再開されました。

これにより、夜間や悪天候で運航できないドクターヘリをサポートし、患者の転院を伴う緊急搬送などに活用することができるようになりました。

道議会公明党としても道消防防災ヘリの夜間運航を求めてきており、ドクターヘリとの連携を強化し、さらなる救急医療体制の充実に取り組んでまいります。



道立

北の森づくり専門学院を視察

10月12日、2020年4月に旭川市内に開校した北海道立北の森づくり専門学院を訪問し、林業機械のシミュレーターを使用した教育プログラムなどの説明を受けました。

同学院は林業・木材産業の知識と技術を身に付け、企業などの中核を担う地域に根ざした人材育成を目的として設立されました。

道議会公明党としても同学院の設立を要望してきており、2050年、ゼロカーボン北海の実現に向け、CO2の吸収源としての森林整備をはじめ、林業・木材産業を担う人材育成を応援してまいります。



札幌医大で

感染症対策で意見交換



9月27日、札幌医科大学を訪問。新型コロナウイルス感染症について、これまでの同大学の取り組みについて説明をお聞きしました。

この中で、10月1日に開設された「感染症医療教育・支援センター」については、道議会公明党としても感染症の治療や予防の専門家育成のために設置を要望してきており、さらなる拡充を後押ししてまいります。

また令和元年5月から保険診療として始まった脊髄損傷の再生医療も、これまで約90人の治療が行われ、病状の改善につながっているとお聞きしました。今後も一人でも多くの方が治療を受けられるよう環境整備を後押ししてまいります。



第3回定例道議会で代表質問

9月20日、第3回定例道議会で道議会公明党を代表して質問しました。物価高騰により打撃を受けている北海道経済の回復に向けた取り組みをはじめ、さらなる新型コロナウイルス感染症対策、また、観光振興やゼロカーボン北海道に向けた取り組みなど多岐に渡って質問しました。

主な質問と答弁は以下の通りです。



Q. 感染症医療の専門人材を育成するため、札幌医科大学に設置される「感染症対策センター」（仮称）の取り組みについて知事の所見を伺う。

A. 道として地域医療に貢献する医療人の育成や医師、看護師などのキャリアアップに向けた札幌医科大学の取り組みを支援していく。

Q. 高い感染レベルとなっている中、後遺症に悩む方々の増加が危惧されるが、どのように対応するのか。

A. 地域の医師会や医療機関と連携した診療協力を改めて呼びかけるなど、さらなる支援の充実に取り組む。

Q. 本州との物流をさらに強化するため、国の第9期北海道総合開発計画の中に「第二青函トンネル構想」を位置づけるよう要請すべきと考えるが。

A. 全国を結ぶ輸送網が維持されることが必要であり、鉄道貨物ネットワークの維持や機能強化について国に対策を求めていく。

Q. 特殊詐欺の被害が過去最悪のペースで発生しており、道警本部としてどのように取り組んでいくのか。

A. 気軽に警察に相談していただけるよう「詐欺電話がきたら#9110」という警察相談ダイヤルを、わかりやすいキャッチフレーズで周知していく。

道建設部所管

当別ダムに水力発電所を

8月1日、当別町にある当別ダムを視察しました。現在、道建設部が所管するダムは18カ所ありますが、当別ダムを含む11カ所はダム内の管理用電力を自給する水力発電設備を備えていません。

このため道として、水力発電設備を設置し、管理費の削減や災害による大規模停電に備えたいと考えており、道議会公明党としてもエネルギーの有効活用につながる取り組みとして後押ししてまいります。

